

れい わ がん ねん ど
令和元年度

ぶん か げいじゆつ こ ども いく せい そう ごう じ ぎょう じゅんかい こう えん じ ぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

きょう と しつ ない がっ そう だん
京都フィルハーモニー室内合奏団

しょうがっ こう こう えん
＜小学校公演＞

きょう
京フィル

はじめてのクラシックコンサート



ぶん か げいじゆつ こ ども いく せい そう ごう じ ぎょう じゅんかい こう えん じ ぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -」

わ くに いちりゅう ぶん か げいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこう など こうえん こども すぐ ぶ たい
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台
げいじゆつ かんしょう き かい え こ ども はっ そうりよく のうりよく いく せい
芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、
しょうらい げいじゆつ か いく せい こく ぶん げいじゆつかんしょうのうりよく こうじょう もくてき
将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じ ぜん こ ども じつえん し どうまた かんしょう し どう おこな じつえん
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、
こ ども さん か
できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

し き さいとう いちろう
指揮：齊藤 一郎

どくしょう むかい ただとし
バリトン独唱：迎 肇聡

かんげんがく きょうと しつないがっそうだん
管弦楽：京都フィルハーモニー室内合奏団

プログラム



おうきゅう はな び おんがく かん き
王宮の花火の音楽より「歓喜」……………ヘンデル

楽器紹介



しょうこうきょうきよく めいじん やまだ かすお
小交響曲「名人」……………山田 和男



こうきょうきよくだい ばん ぐんたい だい がくしょう
交響曲第100番「軍隊」より 第2, 3楽章……………ハイドン

休憩 (15分)

きょうえん きょうきゅう どうそう じょきよく
オーケストラと共演！ モーツァルト／「後宮よりの逃走」序曲

こう か うた
校歌を歌おう！



ふる うた
「アメリカの古い歌」より
ねこ か どくしょう
「むかしむかし」、「おいらは猫を買ってきた」(バリトン独唱)
……………コーブランド



くみきよく どう け し
組曲「道化師」……………カバレフスキー
プロローグ～ギャロップ～行進曲～ワルツ～パントマイム
かんそうきよく じょじょうてきしょう
～間奏曲～抒情的小シーン～ガヴォット～スケルツォ～エピローグ

★ 公演終了後、弦楽器体験コーナーがあります。

曲 目 解 説

王宮の花火の音楽より「歓喜」／ヘンデル 【4分】

バロック音楽の巨匠ヘンデルが作曲した祝典を祝う華やかなファンファーレ。演奏会の幕開けにふさわしい。管楽器と打楽器の掛け合いに心は躍ります。

楽 器 紹 介 【15分】

オーケストラのすべての楽器を、一つづつ演奏とともに親しみやすく解説いたします。楽器ごとの役割、特徴を知ってもらい、この音楽会の鑑賞の手引きとし、子供たちに楽器とオーケストラの仕組みに興味を高めてもらう狙いがあります。

小交響曲「名人」／山田 和男 【5分】

日本を代表する指揮者であった山田一男（旧姓：和男）は日本を題材にした歌曲、民謡の優れた作曲家でもありました。小交響曲「名人」は1956年作曲の室内オーケストラの力作。祭りや民謡調のフレーズが奏者の名人芸とともに児童の興味を誘います。

交響曲第100番「軍隊」より 第2,3楽章／ハイドン 【8分】

18世紀ヨーロッパで流行していたトルコ音楽の影響を交響曲に取り入れた、ハイドンの斬新な楽曲。トライアングル、シンバル、大太鼓の活躍は休憩後に児童たちが共演する「後宮からの逃走」へ繋がり、より一層興味を高めます。

オーケストラと 共 演！ 【10分】

モーツァルト／「後宮よりの逃走」序曲
児童たちが演奏するリコーダー（旋律）、鍵盤ハーモニカ（ハーモニー）、打楽器（リズム）を、オーケストラとともに共演。シンプルですが、本格的な合奏をモーツァルトの生き生きとした序曲で学んでいただきます。

校 歌 を 歌 お う！ 【5分】

（指揮は学校の先生にお願いします）
京フィルのオリジナル編曲で、愛する校歌がダイナミックに生まれ変わります。大きな声で歌いましょう！

「アメリカの古い歌」より 「むかしむかし」「おいらは猫を買ってきた」（バリトン独唱）／コーブランド 【7分】

近現代を代表する作曲家コーブランドの室内オーケストラのための名作歌曲。子どもの耳にも自然と受け入れられるハーモニー、心になじむアメリカ民謡を絶妙のオーケストレーションとともにお届けします。

組曲「道化師」／カバレフスキー 【15分】

メインは、ロシアの近代作曲家が子どもの観賞用に作曲した逸品を。児童劇「発明家と道化師」から抜粋を組曲で並べ、曲ごとのキャラクター、想像力を養います。

演奏者紹介



© ヨーガン・アクセルヴァル

斉藤 一郎 (指揮)

福岡県大野市出身。東京学芸大学、及び東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。在学中に安宅賞受賞。1998年より文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンで研鑽を積む。帰国後、2000年から2004年までNHK交響楽団のアシスタントコンダクターを務め、この間、サヴァリッシュ、プロムシュテット、スヴェトラノフ各氏らの薫陶を受ける。1997年、大阪センチュリー交響楽団（現・日本センチュリー交響楽団）を指揮してデビュー後、国内主要オーケストラと客演を重ねている。海外においてもセゲト響（ハンガリー）、モラヴィア・フィル（チェコ）、オラディア・フィル（ルーマニア）、スロヴァキア・フィル（スロヴァキア）、パルドウビツェ室内管弦楽団（チェコ）などで客演。2009年よりセントラル愛知交響楽団常任指揮者、2014年より同首席客演指揮者。2014年より京都フィルハーモニー室内合奏団音楽監督。邦人作品への積極的な取り組みが評価され、2014年に第9回名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。



● 京フィル ウェブサイト <http://www.kyophil.com>
メール office@kyophil.com

きょうと 京都市フィルハーモニー室内合奏団 (演奏)

1972年創立。定期公演、特別公演、室内楽コンサート、親子のためのファミリーコンサート等を主催すると同時に、各地ホール・テレビ・ラジオ・芸術祭等にも多数出演。「クオリティは高く、ステージは楽しく」というポリシーをもって演奏し、多くの聴衆を魅了している。国内外の演奏家、指揮者と共演する一方、狂言、能をはじめとする日本伝統芸能や、ポピュラーアーティスト、コメディアン等の異分野とのコラボレーションにも積極的である。2014年より音楽監督として斉藤一郎を迎える。

平成2年度 藤堂音楽賞受賞。
平成14年度 京都市新聞大賞文化芸術賞受賞。
平成27年度 第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞受賞。
平成28年度 佐川吉男音楽賞奨励賞受賞。

開催日程

実施日	実施校	地元主催者
2019年6月25日(火)	福岡市立片江小学校	福岡市教育委員会学校指導課
2019年6月26日(水)	福岡市立香陵小学校	福岡市教育委員会学校指導課
2019年6月27日(木)	福岡市立入部小学校	福岡市教育委員会学校指導課
2019年6月28日(金)	福岡市立金武小学校	福岡市教育委員会学校指導課
2019年7月1日(月)	北九州市立鳴水小学校	北九州市教育委員会
2019年7月2日(火)	北九州市立永犬丸小学校	北九州市教育委員会
2019年11月19日(火)	熊本市立一新小学校	熊本市教育委員会
2019年11月20日(水)	八代市立八千把小学校	熊本県教育委員会/八代市教育委員会
2019年11月21日(木)	山江村立山田小学校	熊本県教育委員会/山江村教育委員会
2019年11月22日(金)	人吉市立大畑小学校	熊本県教育委員会/人吉市教育委員会

知ってますか？

10月1日は
「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度

文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

京都フィルハーモニー室内合奏団

＜中学校公演＞

京フィル *Welcome to
Fantastic Orchestra World!*



「文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

指 揮： 齊藤 一郎

バリトン独唱： 迎 肇聡

管弦楽： 京都フィルハーモニー室内合奏団

プ ロ グ ラ ム



王宮の花火の音楽より「歓喜」……………ヘンデル

楽 器 紹 介



10の楽器のためのディヴェルティメントより 第一楽章
…………… 黛 敏郎



交響曲第100番「軍隊」より 第3, 4楽章 …………… ハイドン

休 憩 (15分)

オーケストラと共演！ 合唱「あの素晴らしい愛をもう一度」

校歌を歌おう！



アメリカの古い歌より「a long time ago」
…………… コーブランド



魔王（バリトン独唱）…………… シューベルト（リスト 編曲版）



組曲「プルチネッラ」（抜粋）…………… ストラヴィンスキー
• Sinfonia • Scherzino • Toccata • Gavotta • Vivo • Finale

★公演終了後、質問コーナーがあります。

曲 目 解 説

王宮の花火の音楽より「歓喜」 / ヘンデル 【4分】

バロック音楽の巨匠ヘンデルが作曲した祝典を祝う華やかなファンファーレ。演奏会の幕開けにふさわしい。管楽器と打楽器の掛け合いに心は躍ります。

楽 器 紹 介

【15分】

オーケストラのすべての楽器を、一つずつ演奏とともに親しみやすく解説いたします。楽器ごとの役割、特徴を知ってもらい、この音楽会の鑑賞の手引きとし、子供たちに楽器とオーケストラの仕組みに興味を高めてもらう狙いがあります。

10の楽器のためのディヴェルティメントより 第一楽章 / 黛 敏郎 【5分】

日本を代表する作曲家黛敏郎の最初期（19歳）の傑作。パリ留学以前に既に氏の音楽語法が極めて高かったことが伺える作品。日本にもこんなに素敵な作曲家がいたことを同年代の中学生にぜひ紹介したいと考えます。楽器紹介後の演奏なので10楽器それぞれのソロがより効果的に堪能できます。

交響曲第100番「軍隊」より 第3,4楽章 / ハイドン 【8分】

18世紀ヨーロッパで流行していたトルコ音楽の影響を交響曲に取り入れた、ハイドンの斬新な楽曲。トライアングル、シンバル、大太鼓の活躍が聞きものです。強固なソナタ形式の第4楽章は古典音楽の真髄。圧倒的なフィナーレで前半を締めくくります。

オーケストラと 共 演 !

【5分】

合唱「あの素晴らしい愛をもう一度」

青春を共に分かち合う、若人の歌をオーケストラ伴奏で！中学生生活の良き思い出に混声合唱を！

校 歌 を 歌 お う !

【5分】

（指揮は学校の先生をお願いします）

京フィルのオリジナル編曲で、愛する校歌がダイナミックに生まれ変わります。大きな声で歌いましょう！

アメリカの古い歌より「a long time ago」 / コーブランド 【3分】

近現代を代表する作曲家コーブランドの室内オーケストラのための名作歌曲。子どもの耳にも自然と受け入れられるハーモニー、心になじむアメリカ民謡を絶妙のオーケストレーションとともにお届けします。

魔王（バリトン独唱） / シューベルト（リスト 編曲版） 【5分】

歌曲王シューベルトがゲーテの詩に曲をつけた名曲です。今回はリストのオーケストラ編曲版で伴奏します。これぞ歌の名曲です。メロディーメーカーシューベルトの代表作です。

組曲「プルチネッラ」（抜粋） / ストラヴィンスキー 【18分】

演奏会のメインは、20世紀を代表する作曲家ストラヴィンスキーの傑作で締めくくります。作曲はちょうど100年前（1919年）作曲の動機は300年前のペルゴレージの手稿にまで遡り、モーツァルトよりも前の時代からの西洋音楽をふんだんに取り込まれています。洒脱で色彩豊か、室内オーケストラによる軽妙な音楽が古典とモダンの両時代をタイムマシンのように駆け巡り、生徒の想像力を開花させます。

演奏者紹介



© ヨーガン・アクセルヴァル

齊藤 一郎 (指揮)

福井県大野市出身。東京学芸大学、及び東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。在学中に安宅賞受賞。1998年より文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンで研鑽を積む。帰国後、2000年から2004年までNHK交響楽団のアシスタントコンダクターを務め、この間、サヴァリッシュ、ブロムシュテット、スヴェトラノフ各氏らの薫陶を受ける。1997年、大阪センチュリー交響楽団（現・日本センチュリー交響楽団）を指揮してデビュー後、国内主要オーケストラと客演を重ねている。海外においてもセゲト響（ハンガリー）、モラヴィア・フィル（チェコ）、オラディア・フィル（ルーマニア）、スロヴァキア・フィル（スロヴァキア）、パルドウビツェ室内管弦楽団（チェコ）などで客演。2009年よりセントラル愛知交響楽団常任指揮者、2014年より同首席客演指揮者。2014年より京都フィルハーモニー室内合奏団音楽監督。邦人作品への積極的な取り組みが評価され、2014年に第9回名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。



●京フィル ウェブサイト <http://www.kyophil.com>
メール office@kyophil.com

京都フィルハーモニー室内合奏団 (演奏)

1972年創立。定期公演、特別公演、室内楽コンサート、親子のためのファミリーコンサート等を主催すると同時に、各地ホール・テレビ・ラジオ・芸術祭等にも多数出演。「クオリティは高く、ステージは楽しく」というポリシーをもって演奏し、多くの聴衆を魅了している。国内外の演奏家、指揮者と共演する一方、狂言、能をはじめとする日本伝統芸能や、ポピュラーアーティスト、コメディアン等の異分野とのコラボレーションにも積極的である。2014年より音楽監督として齊藤一郎を迎える。

平成2年度 藤堂音楽賞受賞。

平成14年度 京都新聞大賞文化学術賞受賞。

平成27年度 第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞受賞。

平成28年度 佐川吉男音楽賞奨励賞受賞。

●開催日程

実 施 日	実 施 校	地 元 主 催 者
2019年7月3日（水）	嘉麻市立山田中学校	福岡県教育委員会、嘉麻市教育委員会

知っていますか？

10月1日は
「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。